

| 変更履歴 | | |
|------|----------------------|---|
| | 平成 29 年 12 月 26 日 発行 | 新規作成 |
| R01 | 平成 31 年 3 月 13 日 改訂 | 誤記訂正：(○/×, ○/×)⇒(○, ○), (○, ×), (×, ○) |
| R02 | 令和元年 8 月 23 日 改訂 | 2.2 1)の発生条件(ロード時→開いた時)と誤動作内容(常に有効化→変更ルールに規則なし)を訂正 |

お客様各位

ネットアイキュー株式会社

Reflection for Secure IT Windows サーバ 8.2 SP1 Update1 リリースノート

この度 Reflection for Secure IT Windows サーバ 8.2 SP1 Update1 を国内リリースする運びとなりました。以下 その内容と入手方法につきましてご案内申し上げます。

記

1. 対象製品

- Reflection for Secure IT Server for Windows バージョン 8.2 SP1 Update1
(以下、慣例にて「RSIT Windows サーバ 8.2 SP1 Update1」と表記)

2 変更内容

- 従来バージョン 8.2 SP1 からの主な変更内容は、以下の通りです。

2.1 機能追加/ 仕様変更

1) サポート OS の追加：

- Windows Server 2016 を(前回 8.2 SP1 から)正式サポート。
(* 前回 8.2 SP1 リリース時点(2016 年 8 月 26 日)以降にサポート表明したため、今回改めて明記。尚、導入時の注意点あり。下記 3. 項を参照。)

2) <PermitUnixGroupOtherRead>設定項目追加：

- (* 個別対応のため"rssh_config.xml"設定ファイルのみに追加し GUI 設定画面上は非表示のまま。
- UNIX sftp クライアント(OpenSSH, RSIT 等)への get ファイルパーミッション値(644)指定
 - "false"指定時(デフォルト)：パーミッション値(600)。従来 ver. (7.2~8.2SP1)と同一振る舞い
 - "true"指定時：パーミッション値(644)。
(尚、受信側に既に同一のファイル名が存在時は、そのパーミッション値を維持。)

[設定目的]：Windows 上のファイルプロパティのアクセス許可仕様と、UNIX パーミッション仕様との間には 1:1 の対応付けが出来ないため、RSIT Windows Server から返す get ファイルのパーミッション情報は元々独自仕様となる。本返送情報が 過去 v7.2 更新時に(600)に変更された(="Group"や"Other"への Read 権限が無くなった)。そのため一部のお客様運用において、別プログラム/スクリプトによる get ファイルの後処理がアクセス権なく問題となるケースが生じ、その個別対応策として追加した。

3) [Credential Cashe]設定下の 項目間 設定依存性を改善：

- 外部ネットワークリソースアクセス認証情報の登録モードが非有効時でも、キャッシュ済み登録情報を使用出来るように設定の自由度を改善。下記(a, b)設定において、従来出来なかった(a, b)=(×, ○)状態を出来るように変更し、その結果 (a, b)=(○, ○), (○, ×), (×, ○) いずれの状態も可能となる。 R01
 - [Record credentials in the cache when users log in] (=登録動作 有効指定)
 - [Use credentials in the cache for authentication] (=登録済み情報の使用可否指定)

4) 転送ファイル名 UTF-8 への対応：

- RSIT 以外の OpenSSH 等の sftp クライアントとのファイル転送において、ファイル名に UTF-8 文字コード(日本語含む)が正しく扱えるよう、専用システム環境変数を用意し対応

[詳細]：RSIT Server 導入側 OS のシステム環境変数に変数名"RSSHDUTF8", 値"true"を追加設定することで、sftp プロトコル ver. 3 提示のクライアントに対しても無条件に UTF-8 対応処理するよう改善した。RSIT Server 側では、接続クライアントが提示する sftp プロトコル ver. に従い下記対応の処理をする。
 a) ver. 4 (又はそれ以降)、及び RSIT の場合：～ UTF-8 にて処理
 b) ver. 3：～(相手実装仕様が不明なため)ANSI コードページ(Shift_JIS 拡張)のまま処理
 そのため UTF-8 に対応し sftp プロトコル ver. 3 を提示する OpenSSH とのファイル転送の場合に、転送後の日本語ファイル名に文字化けが生じていた。

2.2 不具合対策内容

- 1) [Subconfiguration]>[User Configuration]設定配下における[SFTP Directories]設定において、
本設定画面を開いた時[注 1]に、設定項目[Show owner and group in directory listings on network shares (slower)]の従来設定内容が勝手に変わってしまう[注 2]問題 R02
[注 1]・他の設定画面へ移動後に再度本設定画面に戻ってきた時も含む
[注 2]・変更ルールに規則はなく、常に有効化,常に無効化,開く度に有効/無効が変化する 等 まちまち
〔発生条件：(a) RSIT Windows サーバ 8.2 SP1 のみ 〕

3. Windows Server 2016 導入時の注意点

- 1) [コンソールホスト画面幅]変更("80 桁"⇒"120 桁")に伴う対応
・Windows Server 2016 では、[コンソールホスト画面幅]が(従来 OS の)"80 桁"から"120 桁"に増えました。
ssh 接続しコンソール画面表示する際に、下記関係成立時にクライアント側画面右端のカーソル移動が円滑に動作します。
[ssh サーバ側コンソールホスト画面幅] ≤ [クライアント側コンソール画面幅]
そのため Windows Server 2016 へ導入時に上記関係が崩れるケースが顕在化し下記 2 案のうちのいずれかの対応が必要となります。
[案 1]:サーバ(WindowsServer2016)側においてログインユーザ毎にレジストリ値を変更し"80 桁"に戻す。
[案 2]:接続するクライアント側においてコンソール画面幅を"120 桁"(又はそれ以上)に変更し接続する。
⇒ 詳細は、FAQ No.8179:「Windows Server 2016 への対応について」添付資料を参照下さい。
<<http://attachmate.okweb3.jp/EokpControl?&tid=61162&event=FE0006>>

4. 対応プラットフォーム

- | | |
|---------------------------------|------------------------------------|
| a) Windows Server 2016 (x86-64) | b) Windows Server 2012 R2 (x86-64) |
| c) Windows Server 2012 (x86-64) | d) Windows Server 2008 R2 (x86-64) |

5. 入手方法

[A] ボリュームライセンス (VPA) 保守契約のお客様：

- ・弊社「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトにログインし該当製品を入手します。

<手順>

- 1) 弊社「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトにアクセス
 - i) 直接 URL (<https://download.attachmate.jp/Login.aspx>) を入力 あるいは、
 - ii) 日本語ホームページ (<https://www.attachmate.com/ja-jp/>) から
> [サポート&サービス] > [ダウンロード] とブラウザ
- 2) 表示「Attachmate ダウンロードライブラリを使用」ページより"ユーザ名","パスワード"でログイン
- 3) 表示「保守の内容」ページ上の本製品の"ダウンロード"をクリック
- 4) 表示「Reflection for Secure IT Windows Server」一覧から"ファイル名"をクリックし入手
～ "Service Pack or Patch"欄が 今回対象"バージョン 8.2.1(8.2.1100)"です。
ファイル名欄 "rsitserverwin-8.2.1.1100-wx64.exe"をクリックし、次ページに進みます。
- 5) 表示「ファイル情報とダウンロード」内容を確認しダウンロードの操作を実施
～ "輸出規制を含むソフトウェアライセンス使用許諾契約に合意します"をチェックし、
"ダウンロード:" ファイルをクリックしてダウンロードを開始します。

[B] シングルパッケージ購入のお客様：

- ・最新版 8.2 SP1 Update1 へのアップグレードをご希望のお客様は、下記お問合せ先までご連絡下さい。
有償にてバージョンアップを承ります。

6. お問合せ先

ネットアイキュー株式会社 Tel: 03-5797-8700 (代表) Email: j-info@microfocus.com

(尚、2018年1月22日以降は 新オフィスへ移転のため右記新番号へ。 Tel: 03-4563-4200 (代表))